

No.43 生徒の安全確保と安全教育推進のための地域と連携した取組

- 管 内 檜山管内
- 分 類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 警察等の関係機関と連携した防犯と交通安全に関する危機対応能力の育成
- 生徒の主体性を育成する生徒会活動

取組の実際

ねらい

- 関係機関と連携し、体験的な活動を取り入れた安全教育を推進する。
- 生徒の主体性を生かした取組をすすめる。

内 容

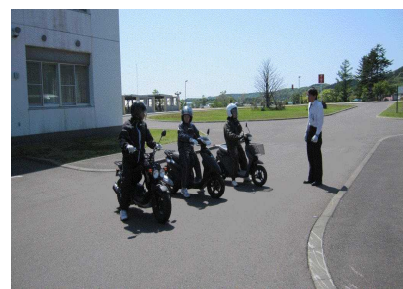
1 関係機関と連携した安全教育の機会の創出

(1) 警察と連携した「交通安全・防犯教室」の実施

- 警察官による交通安全、生活安全についての講話

内 容

- ・ 歩行者、自転車利用のマナーについて
- ・ 自動車免許取得について
- ・ メールやLINE等、文字のみによるコミュニケーションが誤解を生み、トラブルに発展した事例について
- ・ 友人との何気ないやりとりの中にもトラブルのもとがあるので、生活場面のあらゆる点で注意が必要だということについて
- ・ 不審者対応等についての事例について
- ・ 高校生が関係する事故の事例と賠償問題について



(2) 自動車学校と連携した「二輪車安全運転実技講習会」の実施

- 自動車学校指導員を講師として招き、原動機付自転車通学生徒への指導
 - ・ 原動機付き自転車の運転に当たっての運転者としての心構えや義務と責任について、講話を実施した。
 - ・ 原動機付き自転車で登校している生徒が、交通安全推進二輪車クラブを設立し、講習会の中で代表生徒が、交通社会の一員として社会的責任をもつこと、交通道徳を身に付けること、交通社会における安全行動を実施することなどを宣言した。
 - ・ 乗車時の安全確認項目について、転倒防止や交差点などでの留意点について、実技を通じて指導した。

2 学校生活のあらゆる場面を活用した、安全意識の向上を目指す取組

- 生徒会による防犯・交通安全標語の募集
 - ・ 町の防犯・交通安全標語に応募、優秀作品を町が広報に掲載した。
- 教科等における危機対応能力や危機回避能力の育成
 - ・ 交通安全に対する興味・関心を高め、不慮の事故に直面した際の適切な判断と応急手当の方法を身に付けるための授業実践を行った。（保健）

成果と課題

- 交通安全も含め、様々な生活場面における安全について考えることができた。
- 自動車学校と連携した実技講習会を実施することにより運転者としての義務と責任についての理解を深めることができた。
- 教職員向けの防犯訓練を実施する必要がある。
- 通学域の広域性を考慮した効果的な取組について検討する必要がある。